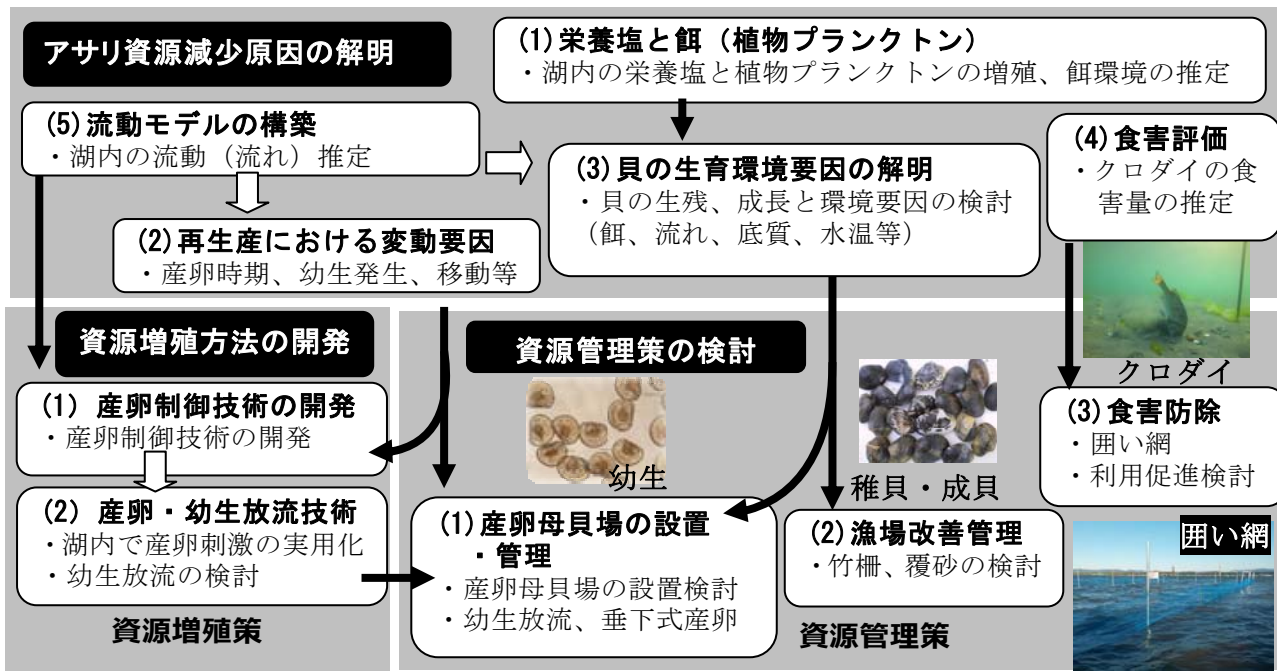


浜名湖のアサリ漁業の再生に向けた資源増殖研究

(予算区分 研究費 研究期間 2021～2023 年度)
 担当：水産・海洋技術研究所浜名湖分場 鷲山裕史

【研究の背景とねらい】

- ・浜名湖のアサリ漁獲量は近年大きく減少し、2020 年は史上最低の 707 トン、渡船潮干狩りも 5 年連続中止となっており、地元浜名漁協からはアサリ資源の復活、観光業界からは渡船潮干狩りの復活が強く要望されています。
- ・再生産における資源量変動要因を解明し、浜名湖の増殖に適した時期・場所に産卵や幼生を放流する技術開発や漁場環境の改善など、環境に応じた資源管理策を検討します。



【期待される効果】

- ・浜名湖の環境に対応し、生残率を向上させる新たな資源管理の検討を行い、漁業者とともに実証することで、2025 年までに漁獲量 2 千トン（漁獲金額 8 億円）以上を目指します。

【年次計画】

細目課題	2021 年度	2022 年度	2023 年度	研究内容
アサリ資源減少原因の解明	○	○	○	栄養塩と餌（植物プランクトン）の検討 再生産における変動要因 貝の生育環境要因の解明 食害（クロダイ）の評価 浜名湖の流動モデルの構築
資源増殖方法の開発	○	○	○	産卵制御技術の開発 産卵・幼生放流技術開発
資源管理策の検討	○	○	○	産卵母貝場の設置・管理 漁場改善管理、食害防除

(作成 2021 年 4 月)